



だての郷通信

ひびき

令和4年 9月号

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 生活介護事業所 **だての郷**

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL024-576-7799 FAX024-576-7815

9月の主な行事

9月3日(土)土曜利用日
5日(月)～8日(木)
ミニドライブ週間
15日(木)報奨金支給
16日(金)ジュース購入日
21日(水)誕生会

9月生まれの皆さん

お誕生日おめでとうございます

尾崎隆信さん(9月3日) 佐藤 潤さん(9月27日)
おめでとうございます!
9月21日に誕生会を行います。お楽しみに。

出来立ての唐揚げ購入！社会体験会行う



店員さんから唐揚げを受け取る利用者さん



唐揚げを購入 ハイポーズ！

8月26日から4日間にわたって、3年振りに社会体験会を実施しました。この行事は、日ごろ施設の中で過ごし、街に出る機会があってもミニドライブや春秋の歩こう会など限られた活動のため、店員さんをとおした買い物体験の機会を設け、社会の一員としての自覚を持つことをねらいとしています。今回は、梁川町にある唐揚げ専門店「旨唐屋」に出向き、各自食べたい唐揚げを選んで購入する体験と、購入した唐揚げを政宗にぎわい広場でいただく活動にしました。4日間とも天候に恵まれ、楽しく社会体験をすることができました。



唐揚げは
窓口で購入

唐揚げを買ったお店は、注文窓口の店員さんに希望の品を告げて購入するようになっており、利用者さんたちは希望の品を告げたり、注文カードを見せて唐揚げを買いました。

①
買い物を体験する
利用者さん (① ②)



買った唐揚げは、梁川町八幡の政宗にぎわい広場のあずまやで、みんなで食べました。揚げたてで、からっとした食感が口いっぱいになって、おいしくいただくことができました。



③



④



⑤



⑥



⑦

あずまやで唐揚げをいただく利用者さんたち (③~⑦)

JAふくしま未来様から 今年もおいしい桃をいただきました



保原幼稚園で両施設の代表者が受領 (7/14)

モモの出荷が本格的になってきた7月、今年もJAふくしま未来桃生産部会様から、だての郷とほどはら授産所にモモをご寄贈いただきました。この紙面を借り、改めて御礼を申し上げます。

7月14日、保原幼稚園に両施設の利用者さん代表が出向き、モモをいただいてまいりました。だての郷からは佐藤晋也さん(上の写真左)に行ってきたいただきました。頂戴したモモはさっそくその日のお昼の給食のデザートとして、利用者さんにお出ししました。



つばさの会八巻会長(写真左)が梅津センター長さんより桃を受領しました(8/2)

8月2日には、JAふくしま未来保原営農センター長の梅津英幸さんが、ほどはら授産所にお越しになりモモの寄贈を行い、つばさの会会長 八巻研二さんが受領しました。こちらもその日の給食のデザートとして利用者さんに提供されました。

両日とも、JAの皆様、生産農家の皆様に感謝しながら、みんなでおいしくいただきました。

8月生まれの皆さんの 誕生日を祝う！



今月はフルーツ
入り杏仁豆腐で
した



正面に着席した8月生まれの皆さん

8月生まれ利用者さんの誕生会を8月24日に行いました。

今回は、佐藤晋也さん、渡辺正秋さん、佐藤信也さん、二瓶学さん、後藤勝さんの5人が主賓です。みんなでハッピーバースデーのメロディーにあわせて誕生者を祝って、フルーツ入り杏仁豆腐をみんなでいただきました。

みなさんおめでとうございました。

食育コラム

給食委託業者の(株)メフォス福島支店佐藤係長さんから今年度第2回目の食育コラムです。食と健康は密接につながっています。このコラムを読んで、健康づくりにお役立てください。



実はいっぱい食欲の秋



株式会社メフォス福島第一事業部
福島支店第2課係長 佐藤 久美

豊かな時代において、いくつか食べられないものがあったとしても、栄養面に大きな問題が出るわけではありません。しかし、より多くの種類のものを食べることができればもっと様々な栄養素を摂取できる可能性が増えますね。秋はいろいろな作物が収穫を迎えています。

秋の味覚／さつまいも・新米・さんま・里芋・かき・ごぼう・きのこ・栗・りんご等・
美味しい旬の食材をご家庭でもたくさん取り入れてください。また、新米の季節でもあります。お米には、たんぱく質、ビタミン、脂肪といった体を作る源になる栄養分がたくさん含まれています。特にでんぷんは、体内でブドウ糖に変化し、脳を活性化させる働きをします。朝ごはんをしっかり食べて元気に一日を過ごしましょう。

9月1日は 防災の日

災害時には、ライフラインや物流が停止し食料品が手に入らなくなる場合もあるので、各家庭で非常食や備品を備えておく必要があります。

農林水産省では、ライフラインの復旧に1週間以上要するケースが多くみられるため、最低でも3日分から1週間分の家族人数分の備えを呼び掛けています。この機会に見直しをしてみましょう。余談になりますが、コロナ感染による自宅療養の際にも、この備蓄食品は大いに役に立つものと思います。ぜひご準備を！

両施設保護者会合同役員会開く



役員会であいさつをする谷津会長（写真右から3人目）

8月31日、両施設保護者会の役員の方々に参集いただき、合同役員会を開きました。

主な議題は、毎年秋に行うあぶくま祭の開催と給食費自己負担についてです。あぶくま祭が今年開催できるかどうか、役員の方々のご意見を聞いたところ、全員がこの新型コロナ変異株の感染者増で今年も開催見送りの決定をしました。

また、平成29年度から社会福祉充実計画により給食費を法人負担で賄ってきましたが、計画終了に伴い次年度から元に戻って自己負担となることについて施設側から説明、役員の方々から一定の理解を得ました。

4回目のワクチン接種行う



今野先生の間診を受ける利用者さんと保護者さん

施設空調設備工事スタート

今年度事業計画で、施設空調設備の更新を行うことになっており、9月下旬から工事の準備に入ります。施設空調老朽化に伴う工事です。日中の支援に支障のないように行うことになっています。

8月10日、伊達市新型コロナ感染対策課のご高配により、ほどはら授産所とだての郷利用者さんへの第4回目のコロナワクチン接種を受けることができました。

当日は、前回同様だての郷を会場に、梁川病院の今野院長先生に来ていただき接種を行いました。前会場の遅れから少々待ち時間がありましたが、接種が始まってからはスムーズに行うことができました。

現在県内で新型コロナ感染者が高止まり傾向で、毎日2000人台になっています。皆様には引き続き感染予防に努められますよう、お願い申し上げます。

編集後記 / ▼今年の夏は、市内各地で3年振りに夏の行事、お祭りや盆踊り、花火大会などが開かれました。新聞の見出しやニュースで「3年振りに開かれ・・・」等と報じられ、ウイズコロナを意識しながら、各種行事を行っているようですが、油断はできませんので、今回の両施設保護者会合同役員会の「あぶくま祭中止」は妥当な判断だったと思います。もう1年様子を見て、感染防止をし過ぎるくらいでないと防げないと思っています。皆様のご協力よろしくお願いいたします▼真夏に比べると陽が短くなりました。職場から帰る頃、本当に暗くなったなあと思います。日が短くなるようにコロナ感染者も右肩下がりに少なくなると思いますが、これからインフルエンザの流行期に第8波が来ると言っている先生もいます。各自予防接種を打って、重症化しないようにしたいものです▼食欲の秋、秋に食べたい食材をテーマにメフォス佐藤さんからコラムを寄せていただきました。これを読んでお食事からの健康づくりをぜひ実践してください▼8月31日に、保護者会からの要望書の回答書を吉田理事長から谷津会長に手渡ししました。保護者会の皆様には今後とも施設運営に御理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。早速ですが、10月1日の保護者会奉仕作業、お世話になります。(M)